



日本語教室（土曜日クラス）の発表



フランス語講座生の発表



韓国語講座金芝男先生クラスの発表



イベント司会

中国語講座孫勉先生クラスの



日本語教室（火曜日クラス）の発表



「台湾の民族舞踊を踊る」遊さん、孫さん、植木さん、ニヨウさん



フランスブース



カッパダンスキッズのダンス



最後のお楽しみ抽選会



船まつり実行委員長



川村学園女子大学生のハンドベル演奏

コロンビアブース

無銭旅行から学ぶ - 90カ国を旅して -

佐藤 満 (AIRA ボランティア部会員、通訳担当)



もう何十年も前のことです。学校を卒業した年に、3~4か月の予定で「ヨーロッパ1人貧乏旅行」を計画しました。ユースホステルに泊まり、移動はすべてヒッチハイキング、一日の予算は3ドル(千円位)です。お金が無くなれば地中海のマルセイユから神戸まで船で帰国する、というものです。横浜港から「バイカル号」に乗船してソ連のナホトカ港へ、モスクワ→レニングラードを経てフィンランドのヘルシンキに着きました。この計画は、最終的には一年半に伸び、40か国の長旅になりました。

この無銭旅行の動機は、当時京都にあった英語同好会「京都毎日英語クラブ」の会合に参加した時、多くの外国人達の行動力、個性の豊かさ、自己意識の強さなどを知った事です。また、小田実の「何でも見てやろう」や五木寛之の小説に刺激・影響を受けたことでもあります。私も一度世界を回ってみたい、「自分の知らない世界を知りたい」と強く思い、「清水の舞台から飛び降りる」覚悟で不安の中での旅立ちでした。

農家での生活

フィンランドでは物価の高さに度肝を抜き、持参した僅かなお金を節約するため、学生組合の紹介で中部の農家に住み一か月半生活しました。その後、北極圏を超え世界最北端の町の一つハンメルフェストからノルウェーの首都のオスロへ向かい、オスロへ南下する途中で乗せてくれた方の紹介で、中部トロンヘームの

南のオップダールの農家で一か月間生活。

その後デンマークとフランスでも農家での生活を、農家での生活は合わせて7か月位になりました。なぜ農家か？は、手に職もない私が見つけられるのはそれ位しか無かったからです。豚小屋の掃除や干草づくりなら熟練でなくても何とかできますから。

所持金盗難

段々厳しくなる寒さを避け、ひたすら南下を続け、ユーゴスラビア→ギリシャ経由トルコ→ギリシャ→イタリア最南端のブリンディジへ上陸→ローマに到着。

この憧れのローマで大事件が発生しました。所持金の大半を盗まれてしまったのです。

この時私に残された選択肢は

①マルセイユへ行き、船で帰国する ②船の切符を京都の旅行代理店に送り現金化し、それをローマに送ってもらい、日本まで陸路を歩いて(ヒッチハイク)帰る、の二つに一つです。旅の途中だったこともあり、私は②を選択しました。それからは浮浪者生活です。公園のベンチが私の寝床。ユースホステルに泊まるお金もなく、知人がいるわけでもなく、雨が降れば橋の下が私の居場所でした。

バクシーシ (物乞い) 体験

やっとローマ中央郵便局留めでお金が届き、生き返って行動再開。フランス→イギリス→アイルランド→スコットランド→ロンドン経由でフランス→スペイン→ポルトガル→北アフリカ経由でモロッコ→アルジェリアへ行きました。アルジェリアで見知らぬ日本人ハイカーと会い、いつもの様にモスクの軒先で野宿をしたその夜中です。彼のメガネが盗まれました。メガネを買う金がなく、やむなく道路に座って通行人からお金を恵んでもらうバクシーシ(アラビア語で物乞い)を始めました。(眼鏡代が\$30、僕らの生活費は一日¢ 20-30)まさかアフリカで物乞いをするとは考えもしたことはありません。

喜捨の精神は本物です。予想に反し僅か3時間位で\$30が集ったのです。その後彼とは別れたのですが、また再会し、チュニジア→リビア→エジプト→レバノン→シリア→イラクと物乞いの極貧旅行をしました。イラクのバクダッドで、初対面の日本人ビジネスマンが憐れみを感じて、何と\$70(一人のハイカーの半年分の生活費に相当)をくれました。何も考えずに物乞いを続けていた私は、これを切っ掛けに世界に通じるビジネスマンになりたいと心底思い始めました。

世界100か国を目指して

その後、某企業の中南米部と中東部の勤務やブラジル、タイでの駐在員を各5年間勤務し、その間近隣諸国を旅しました。訪問国は90を超え、何とか100ヶ国を目指しています。

~「あなたが行きたい高さを決めれば、

それがあなたの行く高さである」~

世界を旅して、私は自分がいかに日本を語れず、世界を知らず、英語もできない自分を再認識しました。旅から多くを学ぶと思います。可愛い子には旅をさせましょう。

~「長生きする者は多くを知る。

旅をした者はそれ以上を知る」- アラブの諺~



7/19 文化講座「浴衣を着る」



Snapshots



6/24 ~ 27 北アリゾナ大学生ホームステイ



7/14 柔道キューバ選手我孫子市訪問 (通訳派遣)



10/22 我孫子国際野外美術展 (通訳派遣)



8/27 我孫子カッパまつり参加



9/20 日本語の教え方教室開講



11/5 ~ 6 Japan Bird Festival (通訳派遣)



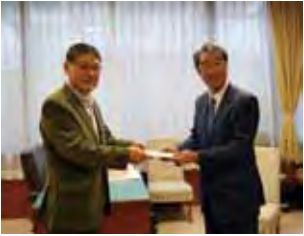
12/10 日本語レベルアップ講座「日本語の学び方を話す」



10/29 異文化理解講座「ドイツ 2016」



バスツアー「房総の村・成田山」



12/19 (公財) 山階鳥類研究所に寄付



12/2 留学生が先生 (第四小学校)



12/19 ~ 20 台湾花蓮高校生ホームステイ



12/6 日本語火曜日クラス「日本のお正月体験」

Information

今後の予定

- 2月12日(日) 10:30 外国語講座幹事懇談会
- 4月1日(土) 外国語講座申し込み開始
- 4月28日(金) 13:00 2017年度AIRA総会
- 5月 日本語教室、外国語講座授業開始
- 9月23日(日) 第19回国際交流スピーチ大会
- 11月26日(日) 第26回あびこ国際交流まつり

ホストファミリー登録者募集

AIRAでは、来日した外国人が日本の家庭での生活体験を希望された時のために、引き受けてくださるホストファミリーの登録者を募集しています。過去の実績として、アメリカ、台湾、韓国、中国などがあります。最近ではアメリカの北アリゾナ大学で日本語を学んでいる学生さんが来日しています。今年も来日予定です。多くの方々の登録をお願いいたします。

「AIRA イブニングクラス」で日本語を

日本語を習いたくても仕事や学校があって火曜日・土曜日に通えない方のための「AIRA イブニングクラス」です。詳細はHPや事務局までお問い合わせください。

日時：毎週金曜日 18:30 から
会場：市民プラザ



2016/6/24 イブニングクラスおにぎりづくり体験

部会活動スタッフの募集

各部会（総務・広報・研修・交流・ボランティア）は活動スタッフを募集しています。活動内容をお気軽にお問合せ下さい。各部長が説明します。

書き損じはがきの回収

書き損じはがきの回収キャンペーンを2月28日まで実施しています。古くても未使用のはがきや、書き損じのはがきがありましたらお近くの行政サービスセンターの回収箱へ。事務局とアビシルベには常時回収箱が置いてあります。ご協力をお願いいたします。



★編集後記

訪日外国人が初めて2,400万人を超えました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、今後も増えることでしょう。我孫子市でも、在住外国人が年々増加し、地域に根差す国際交流を目的としたAIRAの役割が益々重要になっています。昨年11月、AIRAは設立25周年を迎えました。新しい時代に対応したAIRAの活動が期待され、求められています。

昨年世界では、分断、孤立という言葉が飛び交いました。今までの協力関係、相互依存とは逆の内容です。世界には「喜捨の精神」で貧乏旅行を続けることができた佐藤満さん（今号の寄稿文「無銭旅行から学ぶ—90カ国を旅して」）の体験した市民社会も脈打って続いています。この「善意が息づく社会」が、国や人種宗教を超えて人と人とのネットワークをつくることでしょう。（孝）



我孫子市国際交流協会 ABIKO INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION
〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子 4-11-1 あびこ市民プラザ内 土・日も開いています（木曜・祝日定休）
Tel: 04-7183-1231 Fax: 04-7183-2005 URL: <http://www.e-aira.jp> E-mail: info@e-aira.jp